

2024年度
愛知教育大学附属名古屋中学校
1年生 起業体験プログラム
あなたも今日から起業家になろう

[企画運営] 株式会社Lirem

概要

題名

起業体験プログラム

場所

愛知教育大学附属名古屋中学校

〒461-0047 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目126

対象

1年生 全5クラス 159人（36人×4クラス、15人×1クラス）

回数

全9回 第9回目に発表会

目的

起業は金儲けではなく、よりよい社会をつくるために行うものだと知ってもらう

よりよい社会をつくるのは、自分たちであるという当事者意識(シチズンシップ)を得て貰う

未来の社会起業家を生み出す教育機会にする

最終

仮説検証、プロトタイプ、ビジネスモデルを含む事業ピッチ

授業回	授業日時	授業名	ゴール
第1回	10月31 (木) 14:20~15:10 (50)	起業家講演+ミニワークショップ	起業は意外と身近なものだと知る。自分が社会を変えることができることを知る。
第2回	11月5 (火) 14:20~15:10 (50)	アイデア発想（課題発見、解決策）	課題意識の強い課題を発見する。課題を解決するアイデアを発表できる状態になる。
第3回	11月12 (火) 14:20~15:10 (50)	プレ発表とチームビルディング	自分のアイデアを発表し、共感した人たちでチームを作る。 チームとして実現したい未来を想像する。
第4回	11月14 (木) 14:20~15:10 (50)	Aiを使ったアイデアの ブラッシュアップと仮説検証	アイデアをブラッシュアップして仮説を作る。仮説を元に検証できる状態になる。
第5回	11月26 (火) 10:50~11:40 (50)	仮説検証とリーンキャンバスを元に アイデアを具体化	リーンキャンバスを作成しアイデアに持続可能性を持たせる。
第6回	11月28 (木) 10:50~11:40 (50)	プロトタイプと発表資料構成の作成	プロトタイプと発表資料構成の作成を通してアイデアを形にする。
第7回	12月3 (火) 14:20~15:50 (90)	ピッチのやり方と発表資料作成	人に伝わりやすいピッチを知り、資料を作成する。
第8回	12月5 (木) 14:20~15:10 (50)	発表練習とブラッシュアップ	発表練習をしながら資料や話す内容をブラッシュアップし発表できる状態になる。
第9回	12月10 (火) 14:20~15:50 (90)	最終発表とフィードバック	大満足なピッチをする。人生に新しい選択肢が生まれている。

1 コ マ 目

授業名 起業家講演＋ミニワークショップ

ゴール 起業は意外と身近なものだと知る。自分が社会を変えることができることを知る。

日時 10月31 (木)14:20～15:10 (50)

場所 体育館

対象 1年生 全5クラス 159人 全生徒一斉

対応者 藪内(Lirem代表)：講演
篠原(Lirem)：ワークショップサポート
青豆(Lirem)：ワークショップサポート

準備物 総合ファイル・筆記用具・クロムブック

授業内容

1. 近藤にこるさんの取組 (10)

初めの挨拶とにこるさんから去年の起業プログラムの感想と取り組み

2. しくじり藪内 (20)

起業しようとしたきっかけ、起業するまでになにをやっていたか、起業してからの出来事、現在どんな事業をやっているのか、中学生に伝えたいことを話す。

3. ワークショップ (15)

近くの生徒4人でグループを作り、テーマを1つ選び課題を見つけ、解決策を考える

①テーマから課題を選んで見つける。(テーマ例：他の生徒との交流)(課題例：他のクラスのことを知らない) (5)

②見つけた課題の解決策を考えよう。(解決策例：各クラスの前にガチャガチャを設置し、そのクラス全員分の写真や好きなことを書いた紙を入れる。休み時間などで他のクラスの生徒がガチャガチャを引き、出た生徒と誰でもできる簡単なゲームをして交流する。) (5)

③発表 (5)

4. クロージング (5)



もっとゆるい課題

= 面倒

= 暇

= 遅い

2 コ マ 目

授業名 アイディア発想（課題発見と解決策）

ゴール 課題意識の強い課題を発見する。課題を解決するアイデアを発表できる状態になる。

日時 11月5 (火)14:20~15:10 (50)

場所と対象 国際理解室：対面で実施(1-A,1-E) 51人
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-A,1-E以外) 36人*3クラス

対応者 篠原(Lirem)： 国際理解室
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

準備物 総合ファイル、筆記用具、クロムブック、未来マップ、A4用紙 1人6枚(2枚予備) 太い色マジック（見やすい色）

授業内容

1．全体と本日の流れを説明（15）

- ①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有
- ②ルールの共有(いいねを言い合う、否定から入らない、ルールがないことがルール、笑顔、あいづち、もう少し教えて)
- ③チェックイン
- ④イントロダクション 起業の説明

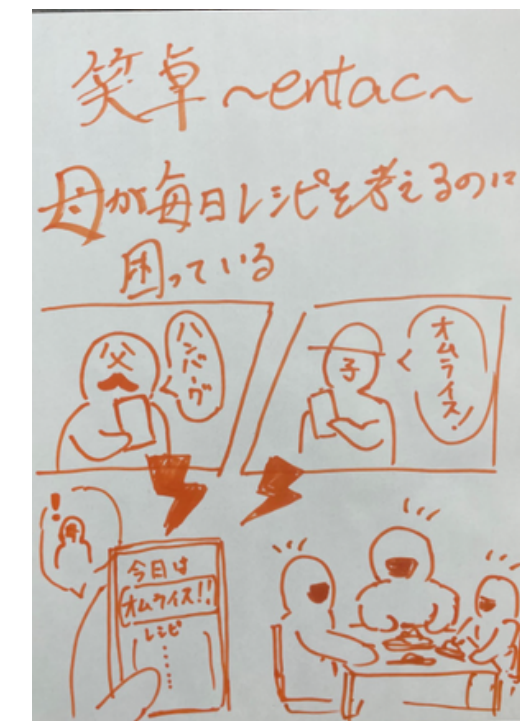
2．アイデア発想ワークショップ（25）

- ①未来マップを振り返ろう（4）
- ②課題を考える（4）
- ③周りの人と困っていることを共有し合う（4）
- ④原因を考えてみる（4）
- ⑤アイデアを考える（解決策）（5）
- ⑥周りの人とアイデアを共有（4）

3．プレ発表資料作成とクロージング（10）

- ①プレ発表資料をA41枚で作成(アイデア名、コンセプト、課題、解決策のイメージ絵等)
- ②次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①プレ発表資料を完成させる②プレ発表練習をする



プレ発表内容例

- 1．サービス名
- 2．問題の提示
- 3．解決策の提示
- 4．実現したい社会
- 5．呼びかけ

3 コ マ 目

授業名 プレ発表とチームビルディング

ゴール 自分のアイデアを発表し、共感した人たちでチームを作る。チーム名を決める。

日時 11月12 (火)14:20~15:10 (50)

場所と対象 国際理解室：対面で実施(1-A,1-E) 51人 3人*17チーム
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-A,1-E以外)
36人*3クラス 4人*9チーム

対応者 篠原(Lirem)： 国際理解室
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

準備物 総合ファイル・筆記用具・クロムブック、A4用紙（1人1枚）、
太い色マジック（見やすい色）、プレ発表資料

授業内容

1. 全体と本日の流れを説明(5)

①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有

2. プレ発表(40)

- ①プレ発表準備（3）
- ②近くの人とアイデアを共有（2）
- ②1人1分で20人が発表（25）
- ③近い分野でアイデアを考えていた人、共感した人でチームを作る（1-A,1-E 3人*17チーム 1-B,1-C,1-D 4人*9チーム）（5）
- ④チーム名を決め写真を撮る、チーム内で自己紹介、ポジション(レンジャー)を決める（5）

3. クロージング(5)

①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①解決したい課題、解決したいと思う背景、解決策、自分たちが実現したい社会(ビジョン)、チーム名を決める



【アカレンジャー】

パッションがあり、世界を変えたいという強力なモチベーションを持っている人。WHY人材がアカレンジャーにあたる。「一見すると突飛」にも見えるアイデアや世界観を打ち出す。そもそも、スタートアップはこの人のビジョンがなければ始まらない。孫正義、スティーブ・ジョブズ、本田宗一郎、イーロン・マスクがそのような人物に該当する。

役割例) ビジョン企画

【キレンジャー】

人に強い人、人が好きな人、コミュニケーションが得意な人。多くのカスタマー、ステークホルダー、提携候補先を常に見て、適切な人間関係を構築できる人。ビジネスセンスに溢れ資金調達も行う。キレンジャーがいるとチームの雰囲気明るくなり、採用力高まる

役割例) 営業・広報・渉外・チームコミュニケーション

【ミドリレンジャー】

スタートアップの参謀役、ストラテジスト（戦略担当）。アカレンジャーが掲げた大風呂敷の目標を達成するために現実的なロードマップとマイルストーンを設計していく。グーグルCEO サンダー・ピチャイなどは優れたストラテジストと言える。

役割例) 戦略構築、社外取

【ピンクレンジャー】

デザイン性の高いUX/UIを設計、実装できる人。機能が優れているだけではプロダクトがコモディティ化してしまうが、センスのよい使い勝手を実現できるのが特徴。流行に敏感なヒップスター（デザイン担当）と呼ばれる人がこれにあたる。アップルの製品も、インダストリアルデザイン部門を率いてきたジョナサン・アイブがいなければこれだけ普及することはなかった。スタートアップ初期は、CXO自らもデザインに関する知見を深めた方がよい

役割例) デザイン/UX/UI

【アオレンジャー】

アカレンジャーの強烈なボケに対して、ひるまずに突っ込みを入れることができるリアリスト。What人材。大局観を捉えつつも、事実を冷静に見ながらプロダクトづくりのディレクションや、アカレンジャーが描く「ワクワクした夢物語」を実現可能な戦略・戦術に転換できる人。いいアイデアだけど、現実的に進めるにはどうすればいいか？定量的に計測できないか？と、論点を構造化していき、実現を推し進める実現型の人。グーグルの場合なら、数々のIT企業を経営してきたエリック・シュミットという大人のツッコミ担当が加わり、ブレイクスルーした。

役割例) オペレーション全体、ファシリテーター、バックオフィス、戦術企画、マーケティング

© Business Economics Management Research Center

48

4 コ マ 目

授業名 Aiを使ったアイデアのブラッシュアップと仮説検証の説明
ゴール アイデアをブラッシュアップして仮説を作る。仮説を元に検証できる状態になる。

日時 11月14 (木) 14:20~15:10 (50)

場所と対象 対面で1クラス実施(1-C)
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-C以外)

対応者 篠原(Lirem)：1-C
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

使用ツール chatGPT(生成AI)

準備物 総合ファイル・筆記用具・クロムブック、A4用紙（1人1枚）、
太い色マジック（見やすい色）

授業内容

1. 前回の続き(15)

①チーム作り、チーム名、チーム写真、チームでチャレンジの共有と役割決め、アイデアの共有

2. アイデアのブラッシュアップ(25)

- ①アイデアを具体的にする（10）
- ②ChatGPTによってアイデアをブラッシュアップする（10）
- ③GPTの回答を元にチームで話しアイデアを仮決めする（5）

3. インタビューのやり方の説明とGPTによる質問の生成(8)

- ①インタビューの目的とどのように実施するのかを説明（4）
- ②質問をGPTで生成し、どのようにインタビューするのか決める（4）

4. クロージング(2)

- ①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①インタビューをする②インタビュー結果の記録を取る



“誰の” “どんな課題を”
“どうやって” 解決するのか？

誰の=ターゲット
どんな課題を=ニーズ
どうやって=How

5 コ マ 目

授業名 仮説検証とリーンキャンバスを元にアイデアを具体化

ゴール リーンキャンバスを作成しアイデアに持続可能性を持たせる。

日時 11月26 (火)10:50~11:40 (50)

場所と対象 対面で1クラス実施(1-D)
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-D以外)

対応者 篠原(Lirem)：Dクラスで進行
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

スタート 5~9コマ目は授業開始時にチームごとにまとまって座る

準備物 総合ファイル、筆記用具、クロムブック、A4用紙（1人1枚）、
リーンキャンバス裏表印刷（1人1枚）

授業内容 ※授業開始時チームでまとまって座る

1．全体と本日の流れを説明(6)

- ①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有
- ②チェックイン

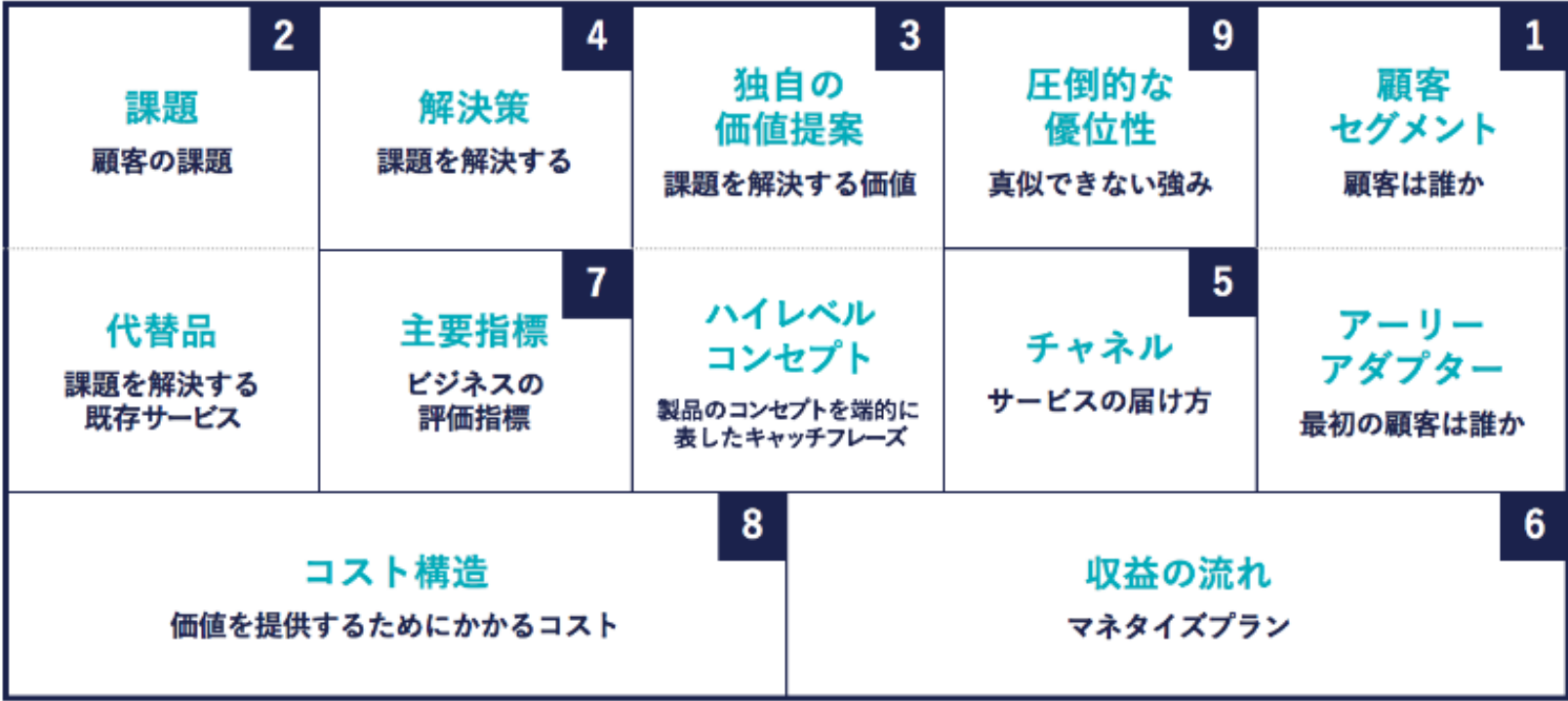
2．仮説を確認しビジネスモデルを構築(40)

- ①インタビューの結果を反映と振り返り（8）
- ②ビジネスモデルの紹介とリーンキャンバスの説明（16）
- ③アカレンジャーを中心にチームで話し合ってリーンキャンバスを書く（12）
- ④リーンキャンバスをまとめる（4）

3．クロージング(4)

- ①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①リーンキャンバスを完成させる②誰かにリーンキャンバスを話してみる



6 コ マ 目

授業名	プロトタイプと発表資料構成の作成
ゴール	プロトタイプと発表資料構成の作成を通してアイデアを形にする。
日時	11月28 (木)10:50~11:40 (50)
場所と対象	対面で1クラス実施(1-B) 各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-B以外)
対応者	篠原(Lirem)：Bクラスで進行 担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助
使用ツール	Figma、Canvaなど 全ての生徒がCanvaを使用できるように準備

- 授業内容
- 1．全体と本日の流れを説明（5）

①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有

②チェックイン

2．プロトタイプと発表資料構成（40）

①プロトタイプについて説明（5）

②発表資料構成について説明（10）

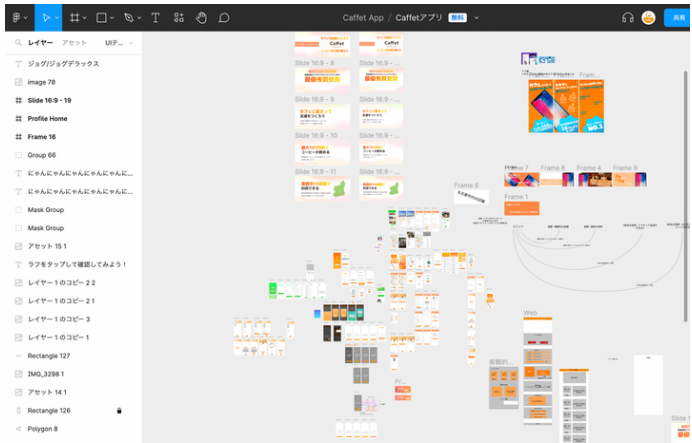
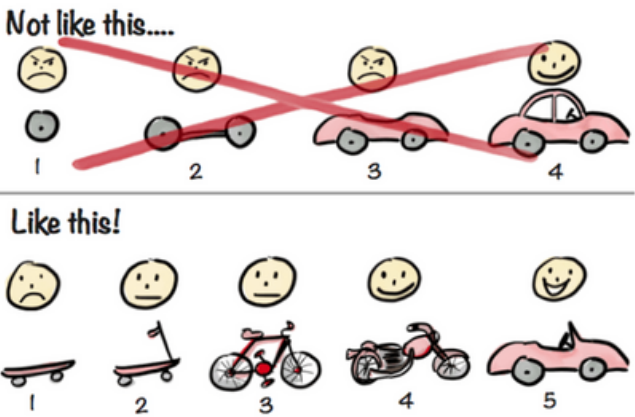
③プロトタイプと発表資料構成の作成（25）

3．クロージング（5）

①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①プロトタイプと発表資料構成を完成させる②プロトタイプと発表資料構成を誰かに話してみる

移動したいって目的を達成するには



7 コ マ 目

授業名 ピッチのやり方と発表資料作成

ゴール 人に伝わりやすいピッチを知り、資料を作成する。

日時 12月3 (火) 14:20~15:50 (90)

場所と対象 対面で1クラス実施(1-D)
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-D以外)

対応者 篠原(Lirem)：Dクラスで進行
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

使用ツール Canva

授業内容

1．全体と本日の流れを説明（5）

- ①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有

2．ピッチ、発表資料、発表資料の例についての説明（20）

3．発表資料を作成（70）

- ①発表資料、プロトタイプ作成
- ②発表資料ができたところから発表練習

4．クロージング(5)

- ①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有

次回までの宿題：①発表資料を完成させる②誰かに資料を見せてみる



4、5分ピッチ

1. サービス名（キャッチコピー）
2. チーム名の紹介
3. サービスの概要
4. サービスの背景
5. 顧客
6. インタビューの結果
7. 顧客の課題
8. 課題の解決策
9. プロトタイプ
10. 収益の得方
11. コスト構造
12. 優位性
13. ネクストアクション
14. ビジョン

8 コ マ 目

授業名 発表練習とブラッシュアップ

ゴール 発表練習をしながら資料や話す内容をブラッシュアップし発表できる状態になる。

日時 12月5 (木)14:20~15:10 (50)

場所と対象 対面で実施(1-B)
各クラスの教室：ZOOM配信で実施(1-B以外)

対応者 篠原(Lirem)：1-Bで進行
担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行補助

使用ツール Canva

準備物 先生：タイマーと呼び鈴のチェック

- 授業内容
- 1．全体と本日の流れを説明(2)
 - ①全体のゴール感、スケジュールを共有、本日のゴール共有
 - 2．発表資料の作成(40)
 - ①最終発表会について説明（8）
 - ②発表練習＆内容ブラッシュアップ（35）
 - 先生のパソコンで正常にスライドが投影されるか機材チェックを実施
 - 3．クロージング(5)
 - ①次回に向けてすることの説明と気づき/学び/感想の共有
- 次回までの宿題：①発表資料を完成させる②発表練習をする



教室	チーム数	発表(分)	質問(分)	準備(分)
A	7	5	2	2
B	10	4	1	1
C	11	4	1	1
D	9	4	2	1
E	6	5	3	2

9 コ マ 目

授業名	最終発表とフィードバック
ゴール	大満足なピッチをする。人生に新しい選択肢が生まれている。
日時	12月10 (火)14:20~15:50 (90)
対応者	篠原(Lirem)：Cクラスから始めのスタートと全体サポート 藪内(Lirem)：Cクラスからクロージング（全体総評） 担任、副担任の先生(9名)：担当クラス進行 審査員(5名)：生徒の発表を聞きチームごとに評価
使用物	Canva（教員パソコンで全チームの資料を開いておく）呼び鈴、タイマー

授業進行

0．審査員の方に流れの説明

13:50に審査員の方が来校、篠原が説明を行う。

1．全体と本日の流れを説明(8)

①これまでの授業と最終発表会について(7)

②審査員の挨拶(1)（ここから審査終了まで先生の進行）14:28

2．ピッチ(65)

発表終了1分前 呼び鈴1回、発表終了時 呼び鈴2回、質問終了時 呼び鈴2回

切り替わりを早くして時間を巻く、「発表お願いします」の声かけ

全チームの発表終了(62) 15:30

少し休憩（審査結果と賞状用意）(3) 15:33

3．審査結果の発表(12)

①審査員から優秀賞の発表⇒賞状⇒写真⇒審査員から一言⇒リーダーから一言（5）15:38

②審査員から最優秀賞の発表⇒賞状⇒写真⇒審査員から一言⇒リーダーから一言（5）15:43

②審査員からこれからの活動を後押しするような総評(2) 15:45までにここまで終わらす

4．クロージング(5) ※ここからCクラスからの配信

①藪内から起業プログラムのクロージング（4）

②担任の先生から終わりの一言と終わりの号令（1）（最終アンケートフォームを記入するようお伝えください）

評価基準

1. 仮説検証とプロトタイプへの取組 (0-5点)

- ・プロジェクトに対する取り組みの熱意が感じられるか。
- ・インタビューや調査に意味が感じれるか。
- ・プロトタイプなどがアイディアのイメージに繋がったか。

2. 事業プランの秀逸さ (0-5点)

- ・事業の背景からビジョンまでのストーリーがあるか。
- ・誰に何をどうやって付加価値を提供するか示されているか。
- ・ビジネスモデルが持続可能なものになっているか。

3. 課題解決の社会的な価値 (0-5点)

- ・解決策が社会に与える影響を示しているか。
- ・提案された解決策が社会にとって価値があるか。
- ・解決策が広く社会に良い影響を与える可能性があるか。

4. 発表の完成度 (0-5点)

- ・発表が整理されていてわかりやすいか。
- ・発表者が自信を持って話しているか。
- ・応援したいと思ったか。



企画運営会社概要

会社名

株式会社Lirem

所在地

愛知県豊橋市花田町中郷92-11

電話番号

090-2425-1015

メール

shinohara@lirem.co.jp

サイト

<https://lirem.co.jp/>

代表

簀内龍介

事業内容

コーディネーター（新規事業・起業・共創）
マーケティング（企画・制作・運営）
イベント・プログラム運営（教育・講演・起業関係）



HP